

休日にケ別したら

7月6日	吉田町	吉田	県立病院	3-3131
13日	巻町	巻町	立病院	2-3111
20日	吉田町	吉田	県立病院	3-3131
29日	分水町	本間	医院	2350



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.87

村民体育館で七月十二日

期待される全村民の参加を

未来からの呼びかけに承えて広大な岩室をえがいてきた、総合開発審議会は、七月十二日午後一時より村民体育館においてえがいてきた計画の発表会を開くことに決定した。
発表される未来像と村民の多数参加が期待されている。

描かれる、あすの岩室村

総合開発審議会の発表会

村行政の『計画策定に住積極的で意欲的な姿勢を村民参加』……を目標に総合開発審議会が作られて未来の岩室村をえがいてきた。同審議会は昨年十一月三十日各部会の中間報告会を開き検討した。

この中間の審議内容は、広報『いわむら』に発表され、村民に大きな反響と希望を抱かせた。

更にこの資料が研究修正され、七月十二日公開発表会が村民体育館において開かれ村民の前に発表されることになった。

審議会会長(田中四郎さん)は「村民多数の参加を期待している」と述べ、発表について村民の批評を待っている。

このように、村行政の計画策定に住民が参加して作るというところは、従来の地方団体では考えられなかったことだと、他町村からもこれらの発表会に注目を寄せている。

おそらく今後地方団体が、地域の経営主体として

作成立、これを中心に行政を運営していくことは、それだけ行政を長期的視点において、しかも総合的、効率的に運営することである。したがって、地方団体の理事者が、合理的に施策を決定し近代化の行政の管理を考へていくこととすべきだといふべく、長期計画の必要性を痛感するというのは当然なことであろう。行政計画なしで行ない、他方では短年度のなりゆき運営に終始して、結果的には、その行政水準に大きなひらきが生じる

えがかれるか 農村観光の始動

① 資本主義体制のもとで計画などなくとも、すなわち情にそわなくなる。② 国や県に確固たる計画がないのに村など計画をつくるのは、それに拘束されて時宜をえ、弾力的な行政運営はできない。③ 自主財源の乏しい地方団体に意欲的な計画などつくられるはずがない。④ 村民が立派な計画をつくる必要はない。⑤ 村民が尊重して、それと共

た、農業の内と外の問題をかかえ農村危機感さえ生じている。これらに対して、農家の人たちは、どんな対策を審議会に望んでいるのか、部落を回って数人の住民にインタビューしてみた。高畑部落のKさん、農業

「生産性を高める立前として経営規模の拡大を図る村政策を強く望む。これには農地の移動を高めるためその制限を撤廃するといふのが、それと共に土地の流動を可能とするような資金面に村として積極的な施策を講じられるべきである。また村有林もできる限り開放してもらいたい。」

自主流通米賛成者の橋本部落のGさん(四七才)

「離農政策については所得補償といった後向きの政策は最少限にとめて、村は住宅政策や職業紹介、職業訓練といった積極的な離農政策がとられるべきである。さらに現在のような米価政策は農業近代化を遅らせることになるので検討が必要である。」

和納のサラリーマンのTさん

「工業開発の拠点たる、新産都市や工業整備特別地域が現在建設されつつあるが、一方農作物の集積地、食品工業の中心地となるべき、田園都市を建設し、農業開発の拠点をつくっていくべきである。」

このように三人の人は大局的に立つ意見を述べられている。これらに対して審議会は研究、当日発表することだろう。

みんなで参加し、あすの岩室村をつくらう。

財政再建団体の指定をうけたような団体で確固とした計画をもって、行政運営してきたものは、おそくないと思われ、自主財源が乏しくとも、計画的に起債をくみ、国庫補助をうけつつ行政水準を高めていく団体も少ないであろう。今後は住民の声を基にした計画行政が大きく岩室村の未来を変えることだろう。反面住民の一部に地方団体における長期計画について消極的な意見はく人も意外に多い。たとえば

しかしこれからは、企画行政時代が大きく要求されることは住民の間に浸透してきている。それだけに、審議会の企画発表は期待に農業部の発表は興味を持たれているようだ。農家が抱えている近代化への悩み。広がる他産業との生産性の格差。都会へ出る青年農家、減らない農家数と兼業農家、農地を手放したくない。こうした農業が曲り角に立っている現在、近代化を図る政策は今のところはないようだ。

次の時代の農家層を一体誰れが支えていくかといふ

「工業開発の拠点たる、新産都市や工業整備特別地域が現在建設されつつあるが、一方農作物の集積地、食品工業の中心地となるべき、田園都市を建設し、農業開発の拠点をつくっていくべきである。」

このように三人の人は大局的に立つ意見を述べられている。これらに対して審議会は研究、当日発表することだろう。

みんなで参加し、あすの岩室村をつくらう。

融和と前進 第二回村民運動会

8月16日

- 発表会時間割
- 一〇〇 これまでの審議経過報告
 - 一三〇 各部会発表
 - 三三〇 村長あいさつと審議発表に答えて